

学校評価シート（自己評価）令和4年度

こまどり幼稚園

1. 園の教育目標

「一人ひとりが主役」子どもたちの居場所は、幼稚園である。一人ひとりが成長しようとする心のサポートを何より大切にしていけることを願って保育に取り組む。本園では、教育目標を次のように掲げ、遊びながらいろいろなことを学べる子に育ててほしいと日々の保育を進めている。

○明るい子 笑顔で明るく挨拶のできる子

○優しい子 友だちを思いやる子

○かしこい子 自分で工夫して遊べる子 お外で元気に遊べる子

2. 具体的な目標や計画

評価項目に沿って、自己点検・自己評価を実施することにより、自己のクラス経営を見直し、新たな課題に取り組んでいく。それと同時に施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。幼児理解に基づいて、保育の再構成をする。(PDCA) (プラン、ドゥー、チェック、アクション)

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
(1) 幼稚園教育要領をふまえ、園の教育理念・教育方針にしたがい指導計画を作成している。	A:10 B:2 C:0	毎週学年で話し合い園の教育理念にしたがい月案、週案、日案をたてている。子どもに合った楽しい保育ができるようにしている。「一人ひとりが主役」であるように常にこころがけ指導している。
(2) 子どもの良さを認めてそれを認め伸ばそうとしている。	A:12 B:0 C:0	一人ひとりの個性を尊重しながら長所をより多く見つけ、褒めるように努めている。 良い所も悪い所も理解しながら声掛け援助をしている。 他の子どもと比較せず、教師間で情報を共有し連携してみている
(3が)、規則正しい生活習慣の定着に向けて一人ひとりにあつた具体的な方法を考える。	A:8 B:4 C:0	チャームに合わせて保育活動をしている。「今はこれをする時間」という意識づけをする。切り替えがうまくいかない場合は、その子に合った無理のない対応をする。
(4) 子どもを理解して、その子の実態に沿って、あそびを工夫したり、広げたりしていく。	A:8 B:4 C:0	子どもの興味・関心に合わせ、遊びが広がるように言葉がけをしたり、物や場所を用意し自分たちで考えて、安心して遊べるようにする。遊びが発展して友だちと協力して遊べる環境を整えていく
(5) 保護者の要望や苦情に適切に判断をし、対応できるようにする。	A:6 B:6 C:0	保護者から出された意見等にたいしては、園の考え方を示し改善すべきものは改善するよう取り組んでいく。 保護者のニーズに寄り添い、受け止める姿勢を大切にすることで保護者との信頼感関係につながる。

A:十分に達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない
D:取り組みが不十分である

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A:10 B:2 C:0	<p>評価項目について見直したり、自己評価をしていくことで、自分の保育活動を振り返ることができ、目標を達成できている。コロナ対策や子ども、保護者への対応など様々なことを職員全体で話し合いながら日々の保育・職務に取り組んでいる。</p> <p>全教職員が、それぞれが自己評価や話し合いを通して、共通理解を図り、幼稚園としての方針を確認することができた。</p> <p>今年度は、昨年度の反省点をもとに子どもや保護者との関わりを見直したところスムーズに保育ができるようになった。次年度にも引き継いでいきたい。</p>

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
行事について	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での行事についてどうすれば多くの人安心して参加できるかを考えていく。 ・ 行事によっては気持ちが不安定になる子もいるため、一人ひとりの個性を大切にしながら取り組みたい。 ・ 行事の由来、季節感を味わえるように工夫（ペープサート、紙芝居、お話し等）し、子どもたちがより楽しいと感じるものにする。 ・ 時代の流れとともに行事の在り方について、考え充実を図れるようにする。 ・ 行事に親しみを持ち、楽しく参加できるようにする。運動会やお遊戯会などの大きな行事では達成感や協調性などを得られるように指導する。
教師の役割と保護者への対応の仕方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師として対応が適切であるかを常に考えて行動する。教職員間で連絡や相談をして対応する。 ・ 話をよく聞きすぐに対応できない時は幼稚園や教職員に相談する。 ・ 教師と保護者の線引きも忘れない。 ・ 保護者の思いも受け入れ、園での子どもの様子を伝えながら共有していく。
自己評価をしこれからの保育者としての向上について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修に参加するなど保育者としての資質向上に努め、日々の保育を振り返り次に生かしていく。 ・ 子どもの目に見えない心の動きも読み取れるようにしたい。 ・ 自分の保育者としての向上の為、一人だけでなく他の保育者とも協力していく。 ・ 日誌を記録することで子どもの様子や自身の保育を振り返り次へつなげていく。 ・ 子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、クラスとしてのまとまりをつくっていけるようなクラス運絵をする。
園の担当の仕事について	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの行事担当の記録を参考にしたり先輩に確認したりして行事について話し合いをしながら進める。 ・ 後輩の先生達を育てていく立場として良き相談相手になって指導していく。 ・ 仕事の役割を分担し、協力して作業をすすめる。仕事の内容をまとめておくこと次年度への引継ぎがよりスムーズになる。
気になる子への支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・ その子に合った声かけをし、援助の仕方を工夫していく。 ・ 職員間で情目報を共有し園全体で見守れるようにし、家庭と密に連絡を取り合い子どもを見守る。 ・ 療育と保護者と連携し同じ目線（保育目標）で保育をしていく。 ・ 気になる子はそれぞれ課題が違うので子どもを理解してその子に合った対応をおこなう。 ・ 気になる子がどうしたら成長できるのかをよく考え実践していくことが望ましい。

学校評価シート（学校関係者評価）まとめ

学校評価委員会 2023/1/16（月）11：00～11：40

出席者 評価委員 5人

外部評価委員 1人

- 1 自己評価で設定した教育目標、具体的な目標や計画の設定は適切でしたか。

適切である（6） 適切でない（0）

（理由）こまどり幼稚園の施設や環境にあった目標である。

先生方が挨拶や笑顔を園児に向けているので、率先して導いているように思う。

- 2 評価項目の取組及び達成状況の5項目の結果については適切でしたか。

適切である（5） 適切でない（1）

○（2）～（4）は、適切だと思う。

（1）は、保護者が、理解周知していると思えない。

「一人ひとりが主役」を心掛け指導しているということも同様に思えない。

（5）は、保護者からの意見は最後まで話をくみ取り必要と判断したものは、保護者全体に周知することで、信頼とつながり関係をしっかりと構築できるのではないかな。

○（5）については、先生方からすれば達成させていて適切なかもしれませんが、保護者の立場からすると、対応に対しての不満が残る方もいたと思う。それを思うと、もう少し違う対応もできたのではないかなと思うので適切ではなかったと思う。

- 3 具体的な目標や計画の総合的な評価結果については適切でしたか。

適切である（6） 適切でない（0）

○子どもの良さを言葉にだすことで、子ども心も認められているとの思いが強くなっていき、良いと思われます。

- 4 今後取り組むべき課題は適切だと思いますか。

適切である（6） 適切でない（0）

○保育園や幼稚園で悲しいニュースが多々ある中で、こまどり幼稚園の先生方は保護者との信頼関係を築いていくので安心して預けることができます。コロナ禍ではありますが、少しずつ行事を戻していく、その際の配慮もあり子どもと保護者が楽しい思い出を作れる幼稚園であり続けてほしいと思いました。

- 5 その他何でも気づいたことや感想、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○コロナ禍という難しい時期でもいろいろな行事を考えてくださりありがとうございます。

○ホームページの写真等情報をこまめに更新してください。

○近年、バスの事故や職員の倫理観による不祥事が問題になっている。不安に思う保護者も多くいるので他人事とは思わず園全体で受け止めてもらいたい。